

2009年度上期(4～9月) 決算概況

代表取締役社長

伊藤 文大

2009年11月5日

株式会社 クラレ

1. 2009年度上期決算のポイント

- 計画比売上高はわずかに未達、利益は超過達成
- 景気は最悪期を脱しつつあるが、予断を許さない状況
- 内需や欧米市場は7～8割の需要レベル
- 中国を含むアジア市場を基盤とする事業、特に液晶、LED関連が回復
- 繊維は依然厳しい状況が継続

2. 2009年度上期決算概況①

2009年上期

[億円]

実績

期初公表

増減

売上高	1,571	1,600	▲29	[▲2%]
営業利益	98	80	+18	[+22%]
経常利益	94	70	+24	[+34%]
純利益	52	45	+7	[+16%]

2. 2009年度上期決算概況②

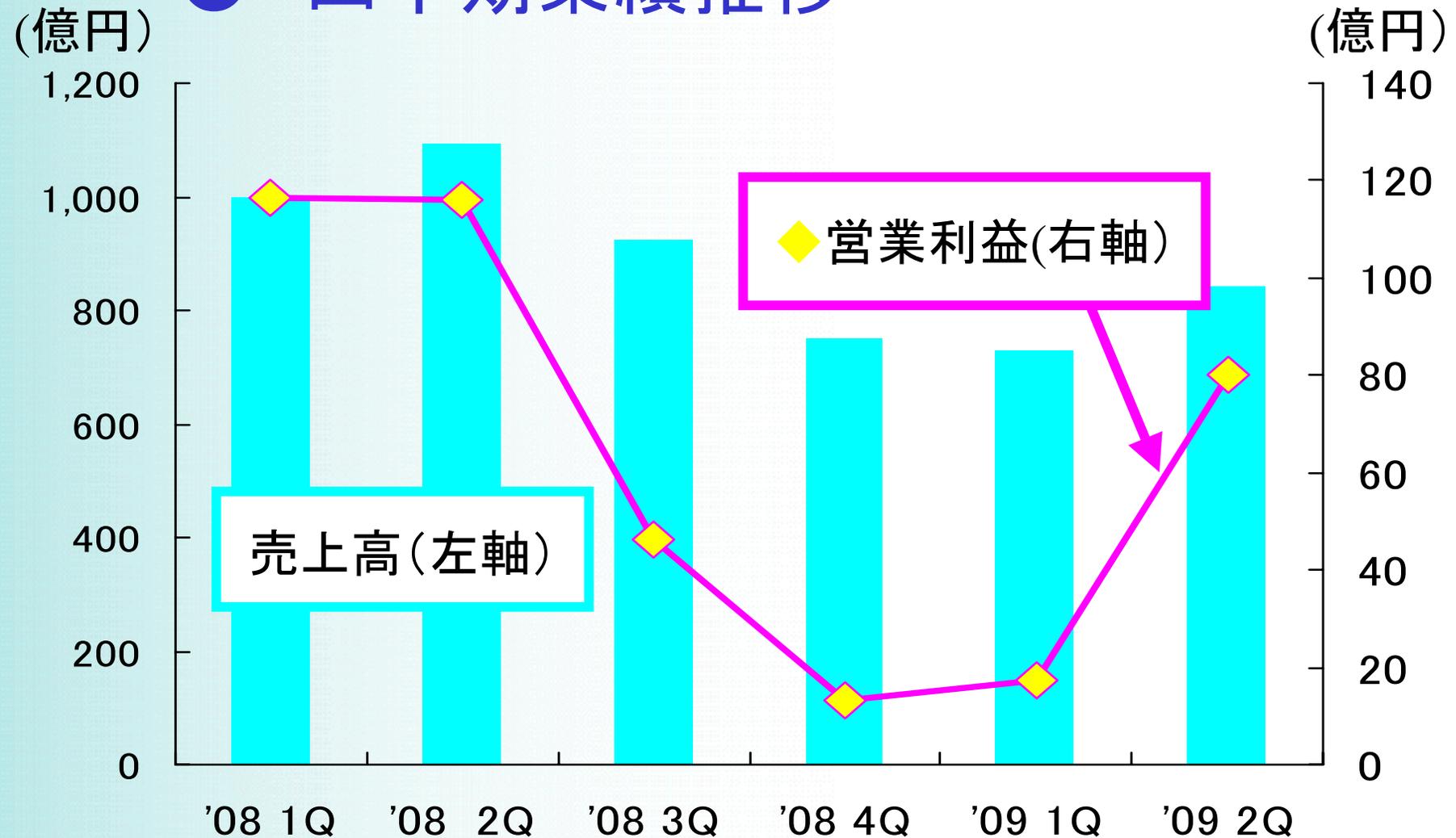
	2009年度 上期	2008年度 上期	[億円] 増減
売上高	1,571	2,093	▲523 [▲25%]
営業利益	98	233	▲135 [▲58%]
経常利益	94	223	▲128 [▲58%]
純利益	52	134	▲82 [▲61%]
営業利益率	6.2%	11.1%	▲4.9 ポイント
ROE*	3.2%	7.8%	▲4.6 ポイント
ROA*	4.1%	9.4%	▲5.3 ポイント

* ROE : 純利益 × 2 / 期首 ・ 期末平均自己資本

* ROA : 営業利益 × 2 / 期首 ・ 期末平均総資産

2. 2009年度上期決算概況③

● 四半期業績推移



2. 2009年度上期決算概況④

	2009年度 上期	2008年度 上期	増減
1株当たり純利益	15円00銭	38円50銭	▲23円50銭
1株当たり配当金	8円00銭	12円00銭	▲4円00銭

			[億円]
設備投資	113	198	▲85
減価償却費	170	172	▲2
研究開発費	74	81	▲7

3. セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2009年度 上期		2008年度 上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品・樹脂	951	168	1,276	264	▲325	▲97
繊維	386	▲13	511	28	▲125	▲41
機能材料・ メディカル他	234	15	306	26	▲72	▲10
全社・消去	—	▲73	—	▲85	—	+13
合計	1,571	98	2,093	233	▲523	▲135

3. セグメント別概況（事業別）

化成品・樹脂

光学用ポバールフィルムは前年同期並まで回復。他製品も概ね前年同期比8割水準まで回復。在庫水準適正化に向けた稼働調整を続けており、低稼働に伴うコスト増があった。

繊維

欧州建築需要の低迷でFRC用ビニロンが低調。〈クラリーノ〉、〈ベクトラン〉も低調が続く。全体として需要が低迷し、生産調整を余儀なくされた。

機能材料・メディカル他

〈ジェネスタ〉のLED反射板向けが想定以上の伸びを見せ、昨年後半の大幅な悪化から急速に回復している。メディカルその他子会社は堅調に推移。

4. エリア別市場動向

日本・アジア

アジアでの需要が順調に回復。特に光学用ポバールフィルム、LED反射板向け<ジェネスタ>等が想定以上に伸長し業績を牽引。ポバール樹脂がアジアで回復基調。一方で内需の回復は足取りが重く、特に繊維製品やメタクリル樹脂が苦戦。

北米

自動車産業の低調など景気低迷が続いており、ガソリントank用<エバー>や<セプトン>、<クラリーノ>、<ベクトラン>等の回復が遅れている。

欧州

全体として回復が遅い。特に建築向け材料（PVBフィルム、FRC用ビニロン）が低迷。

5. 貸借対照表①(資産の部)

[億円]	09年9月末	09年3月末	増減
流動資産	2,196	2,014	+182
固定資産	2,700	2,705	▲5
資産合計	4,895	4,719	+177

有形・無形 固定資産	
設備投資	+113
減価償却費	▲170
為替影響	+43
その他	▲1

小計	▲15
投資 その他の資産	
小計	+10

在外子会社期末日レート

	09.6末	08.12末
円／ドル	96	91
円／ユーロ	136	128

5. 貸借対照表②(負債・純資産の部)

[億円]	09年9月末	09年3月末	増減	
流動負債	700	690	+9	
固定負債	875	778	+97	
負債合計	1,575	1,469	+106	内、有利子負債 +67
純資産合計	3,320	3,250	+70	内、為替換算 調整勘定 +43
負債・純資産 合計	4,895	4,719	+177	

在外子会社期末日レート

	09.6末	08.12末
円/ドル	96	91
円/ユーロ	136	128

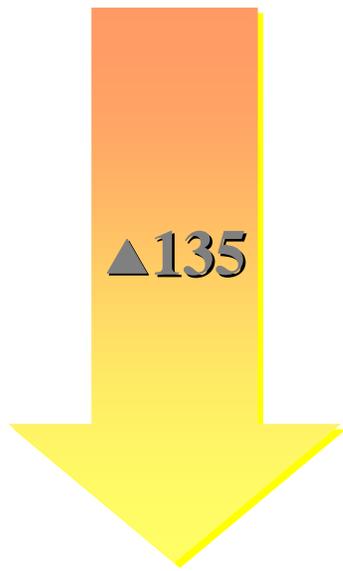
6. 営業利益増減分析

2008年度 上期

233億円

数量・構成	▲98
操業度	▲84
売値	▲80
原燃料(市況因+113、為替因+8)	+121
為替	▲32
償却費	▲2
コストダウン、経費削減	+40

▲135



2009年度上期

98億円

	08上期実績	09上期実績
国産ナフサ／kl	69千円	30千円
ドル(平均)	106円	96円
ユーロ(平均)	163円	133円

7. 2009年度業績予想①

- アジアは回復基調が持続する一方、欧米は引き続き回復が遅い
- 液晶パネル向け需要は引き続き堅調
- 原燃料価格高騰の影響を値上げと経費削減等で極力吸収

	期初前提	上期実績	下期前提	通期想定
円／ドル	100	96	90	93
円／ユーロ	135	133	135	134
ナフサ千円/kl	37	30	43	37

7. 2009年度業績予想②

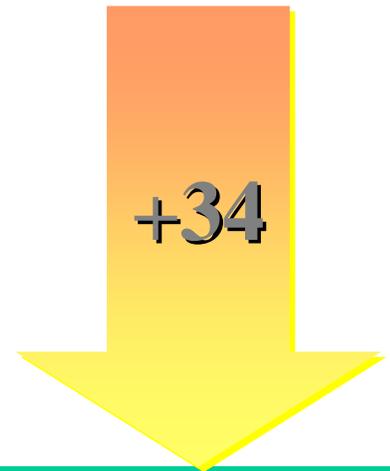
[億円]

	上期	下期(予)	通期(予)	期初公表
売上高	1,571	1,729	3,300	3,400
営業利益	98	132	230	200
経常利益	94	116	210	170
当期純利益	52	73	125	105
1株当たり利益	15円00銭	20円90銭	35円90銭	
1株当たり配当	8円00銭	8円00銭	16円00銭	
設備投資	113	87	200	
減価償却費	170	195	365	
研究開発費	74	86	160	

8. 上期vs下期営業利益増減分析

2009年度上期 98億円

- 数量・操業度回復 +50
- 原燃料 ▲30
- 値上げ、コストダウン +20
- 償却費 ▲25
- 工場の定期全停修理 +20



2009年度下期 132億円

	期初前提	上期実績	下期前提	通期想定
円/ドル	100	96	90	93
円/ユーロ	135	133	135	134
ナフサ千円/kl	37	30	43	37

9. 2009年度セグメント別予想

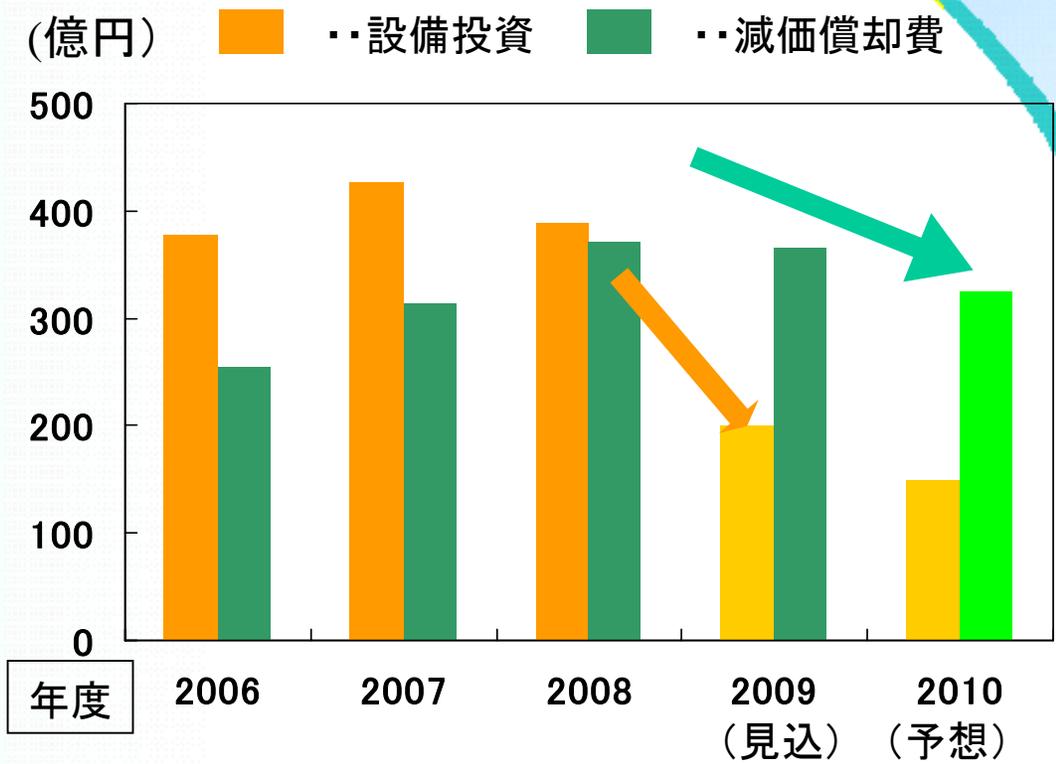
[億円]

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
化成品・樹脂	951	1,049	2,000	168	192	360
繊維	386	414	800	▲13	▲12	▲25
機能材料・ メディカル他	234	266	500	15	20	35
全社・消去	—	—	—	▲73	▲67	▲140
	1,571	1,729	3,300	98	132	230

10. 収益構造改善のための施策と効果

① 過剰状況にある、「設備投資の圧縮」

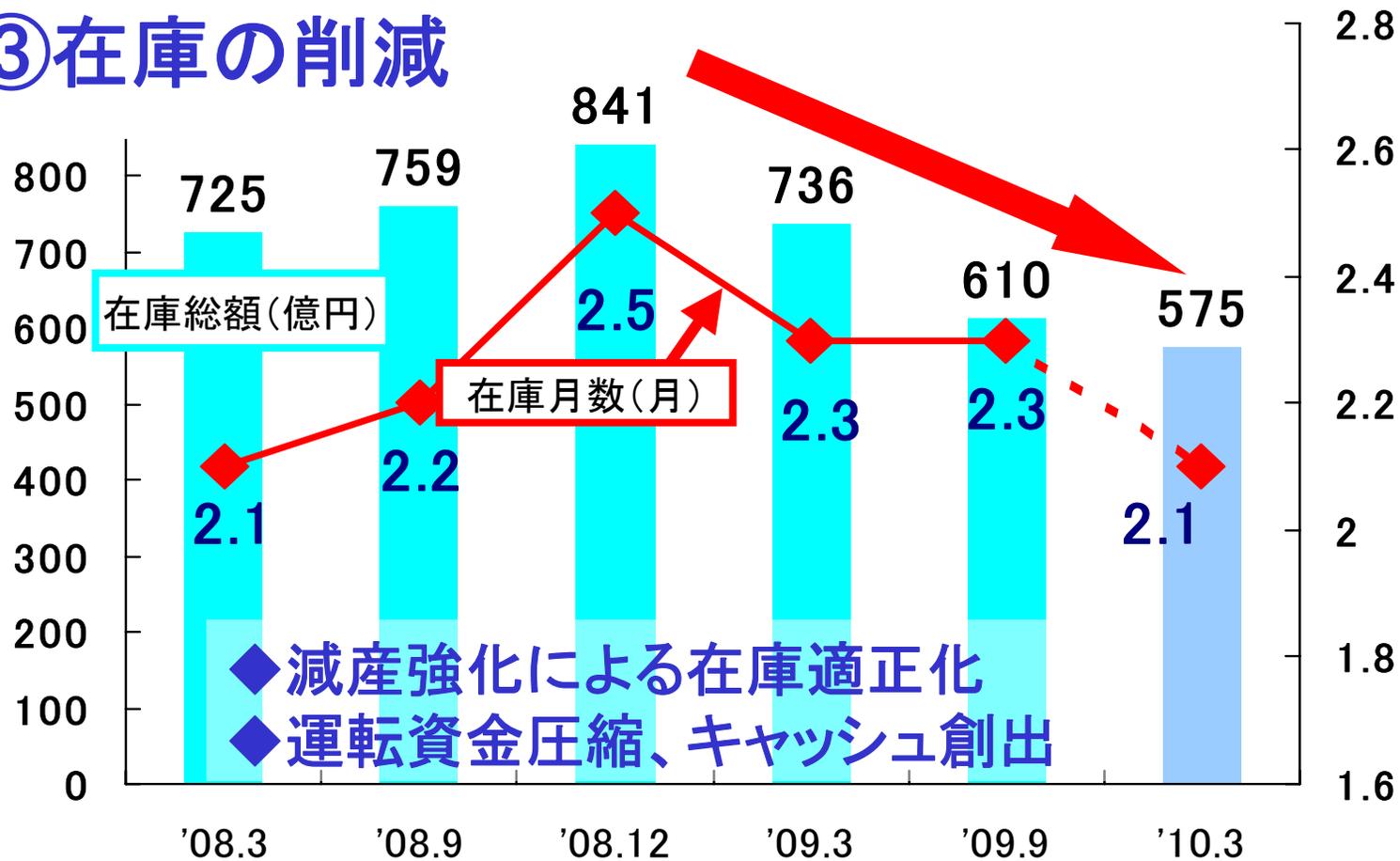
- ◆ 設備能力の適正化
- ◆ キャッシュ・フローの確保



② 固定費の削減

- ◆ 人員の適正化、それに伴う人件費の削減
- ◆ 工場コストの削減
- ◆ 本社費の削減

③在庫の削減



①～③の施策を通じて、2010年度以降にさらなる収益構造の改善効果を発現させる。

11. 新事業の創出・強化に向けて 経営資源を集中投下

■ 環境領域：

アクアビジネス

(排水処理・リサイクル、
有価物回収、バラスト水)

■ エネルギー領域：

太陽エネルギー(太陽電池パネル封止材等)

水素エネルギー(燃料電池材料等)

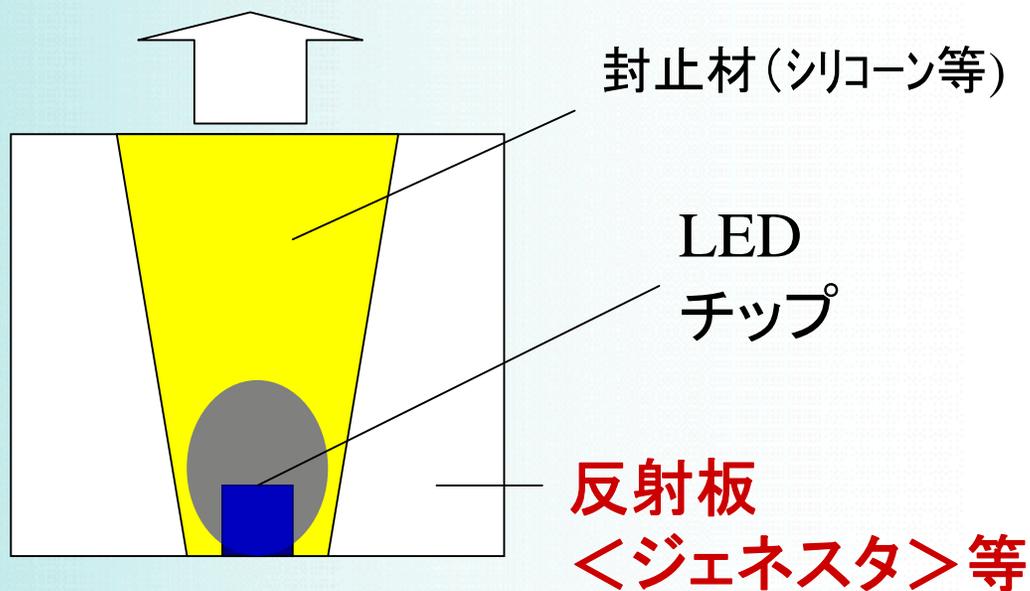
■ 光学・電子領域：

LED部材、照明部材、透明導電膜等

新事業開発について

☆LED用<ジェネスタ>について

2009年春よりLEDTV向けに出荷スタート！



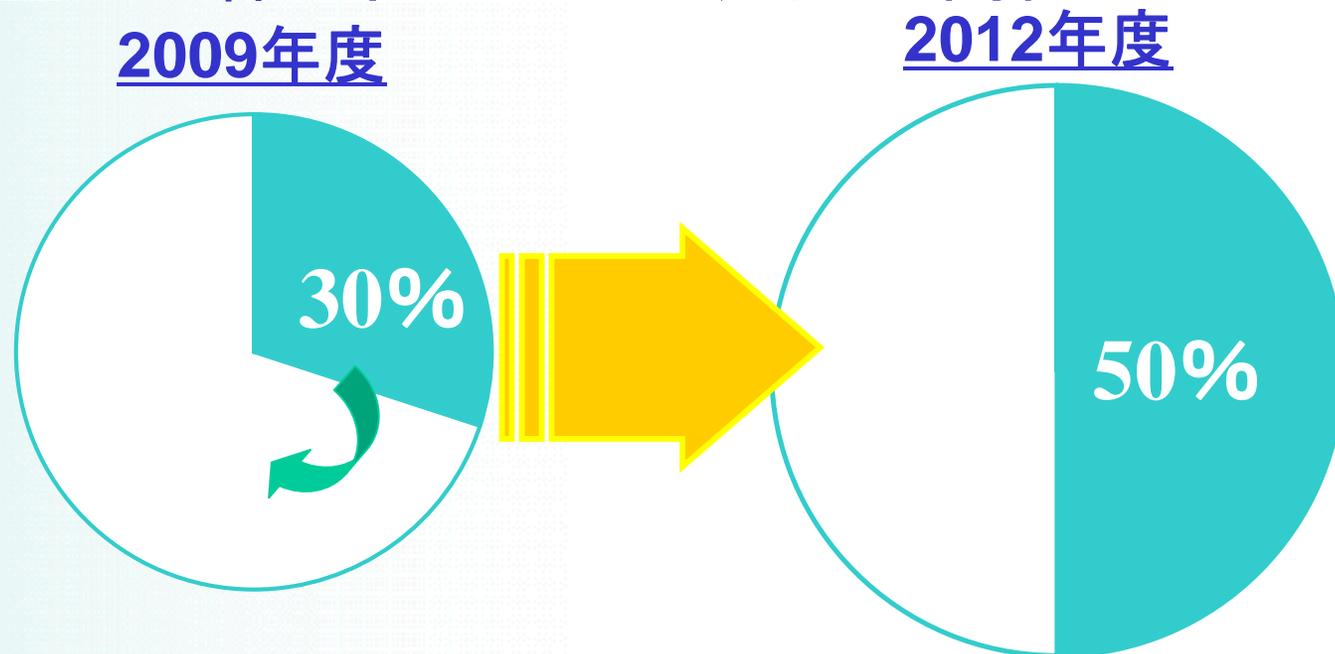
ジェネスタの特徴

- (1) 高反射率(対白色)
- (2) 光耐久性
- (3) 耐熱性
- (4) 耐リフロー性
- (5) 低吸水性
- (6) 耐薬品性
- (7) 高摺動性
(摩擦に強い)



☆LED用<ジェネスタ>について

当社の出荷量の全体に占めるLED用途の割合

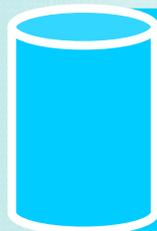


〔前提〕

LED比率(TV)	約2-3%	約25%
LED比率(ノートPC)	約50%	90%以上
エッジ型比率	約50%	約80%

* 現在の採用実績 サムスン他韓国メーカーが中心

☆バラスト水処理システムの開発



バラスト水管理条約 (国際海事機構)

船舶へのバラスト水処理装置の搭載義務づけ

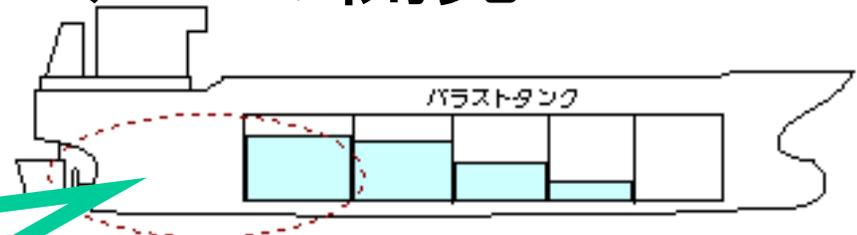
- 新造船 2011年
- 既就航船を含めた全面義務化 2017年～

ピーク時
2兆円市場

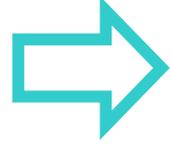
2016年のピーク時に500億円の売上目指す

☆バラスト水処理システムの開発

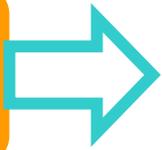
不織布
特殊フィルター



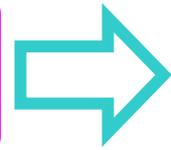
①取水



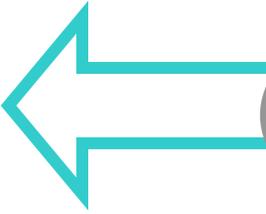
②ろ過



③薬剤で
殺滅



④排水



世界で初めて
常温保存可能な
固形薬剤を採用



取水: プランクトン・泥・砂・細菌を含む海水 排水: 排水基準値以下のきれいな海水

- 省電力
- 省スペース



環境に優しい
新システム

未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。